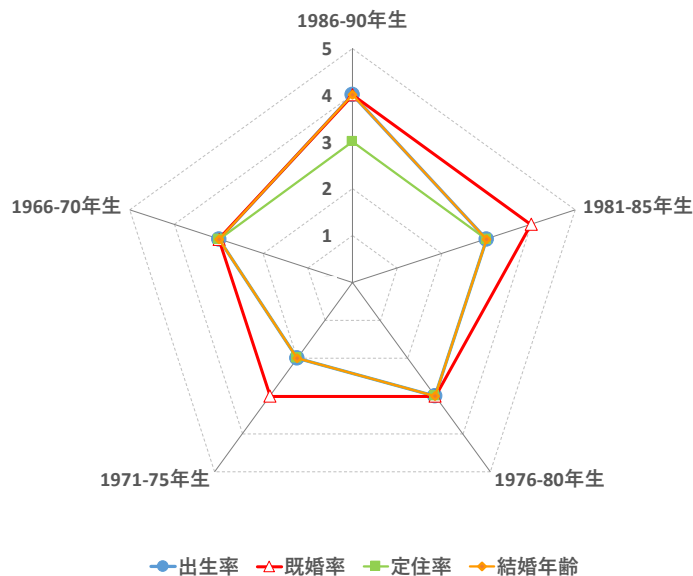


## (20) 胎内市

### ①出生に関する総合評価

図20-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

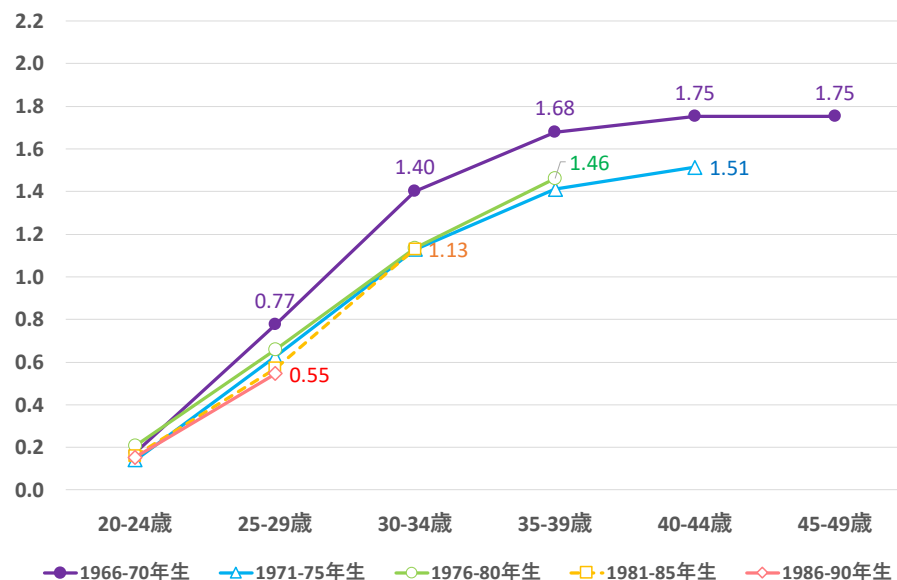
1. 合計出生率は、1971-75年生まれは下位、1966-70年生まれ、1976-80年生まれ、1981-85年生まれは中位、1986-90年生まれは上位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれから1976-80年生まれまでは中位であるが、1981-85年生まれと1986-90年生まれは上位である。
3. 女性定住率は、1971-75年生まれは下位であるが、1966-70年生まれと1976-80年生まれから1986-90年生まれまでは中位である。
4. 女性結婚年齢は、1971-75年生まれは下位、1966-70年生まれ、1976-80年生まれ、1981-85年生まれは中位、1986-90年生まれは上位である。

### 【総合評価】

1. 胎内市では、既婚率、定住率、結婚年齢、合計出生率がすべて中位程度に位置している。ただし、1980年代後半生まれは、既婚率、結婚年齢、合計出生率が上位に位置している。
2. 1980年代生まれコホートの女性既婚率が低下傾向にあるため、特に80年代後半生まれコホートの25-29歳までの合計出生率がそれ以前のコホートよりも低下している。
3. 25-29歳の出生率は一貫して減少傾向にあることから、今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップをどの程度達成であるかに依存する。

## ②コホート合計出生率

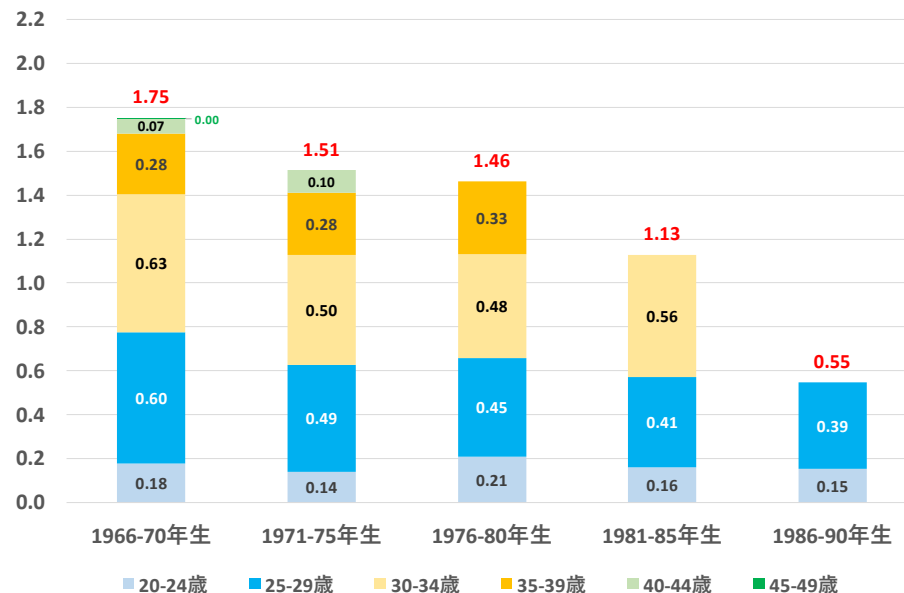
図 20-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 20-2 は、南魚沼市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1971-70 年生まれ以降のコホートの間にはわずかな差しかみられないが、1986-90 年生まれのコホートでは 25-29 歳の合計出生率がさらに低下している。

図 20-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

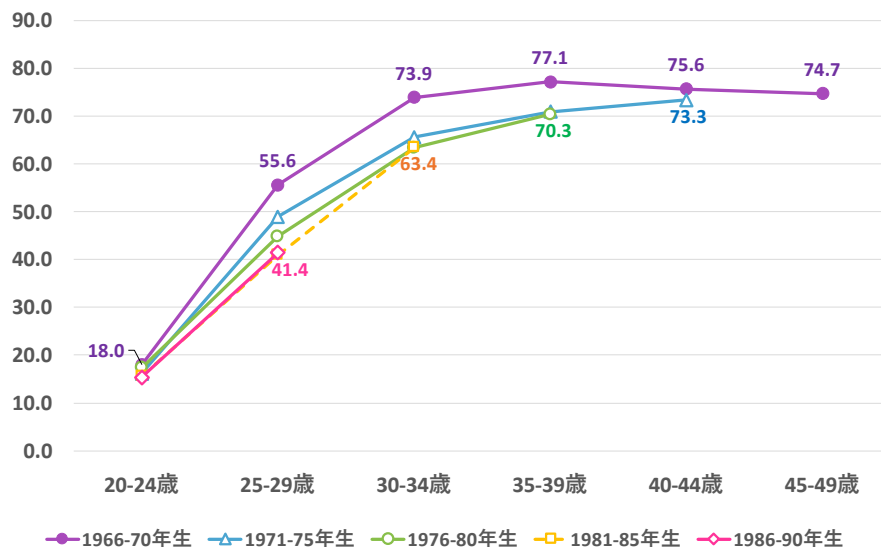


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 20-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.78 人に対して、1986-90 年生まれは 0.54 人に大きく減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.91 人に対して、1976-80 年生まれは 0.81 人に低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.97 人に減少した。

### ③コホート別既婚率

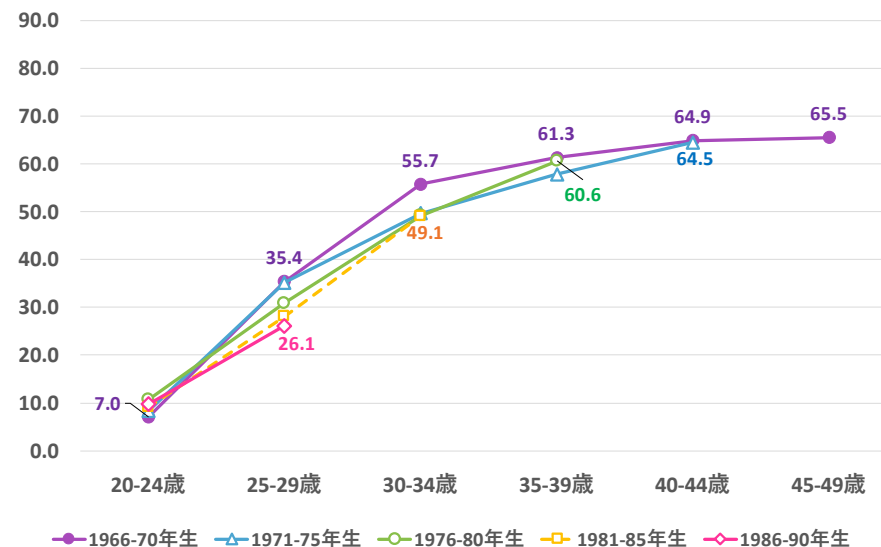
図 20-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 20-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 55.6%から 1986-90 年生まれは 41.4%へと 14.2 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 77.1%から 1976-80 年生まれは 70.3%へと 6.8 ポイント低下している。

図 20-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

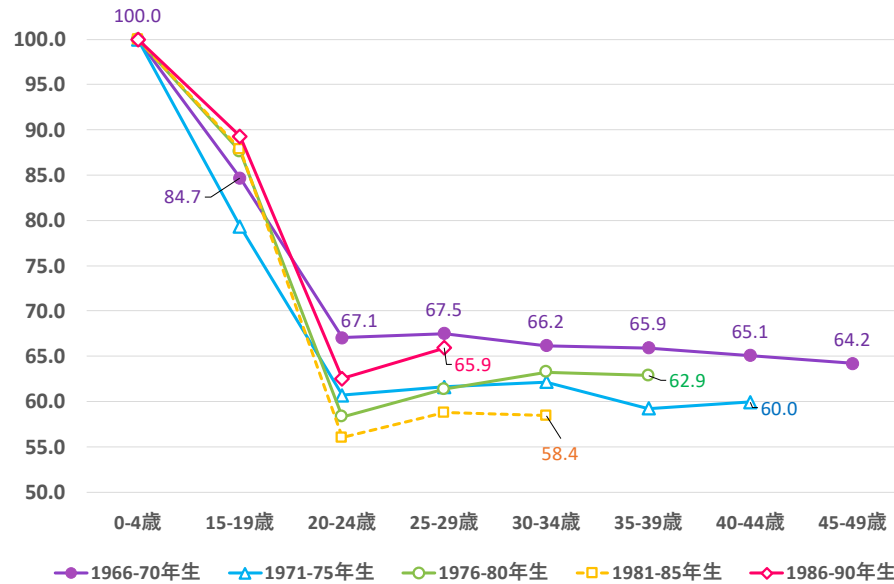


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 20-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 35.4%から 1986-90 年生まれは 26.1%に 9.3 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 61.3%から 1976-80 年生まれは 60.6%へと 0.7 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台前半に達するが、男性は 60%台半ばに止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 20-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

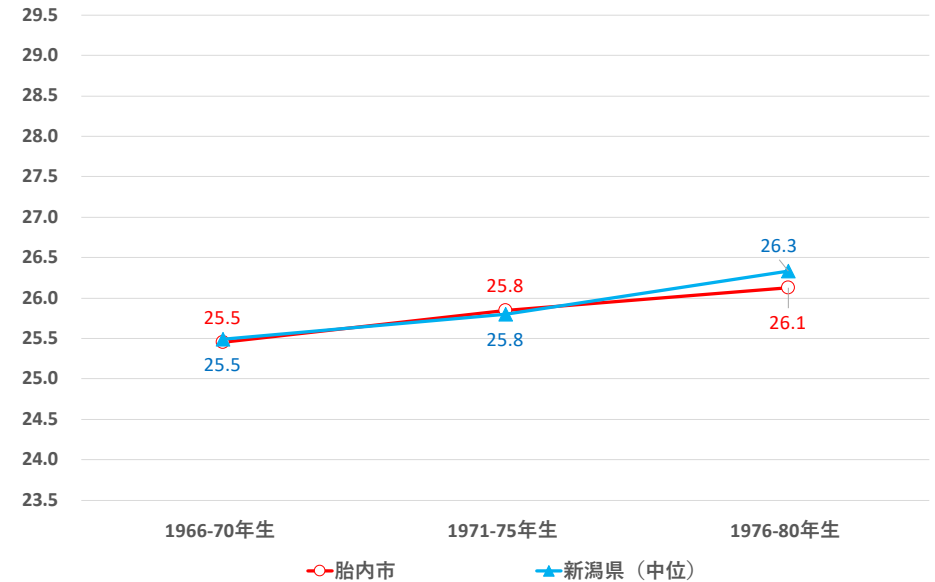


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 20-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの67.5から1986-90年生まれは65.9に1.6ポイント減少している。また、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの65.9から1976-80年生まれは62.9に3.0ポイント減少している。
- ・ 胎内市では、25-39歳時でみると、1966-70年生まれは0-4歳時点の60%台後半を維持してきたが、1970年代生まれ以降は、1986-90年生まれを除いて60%前後に低下した。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 20-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

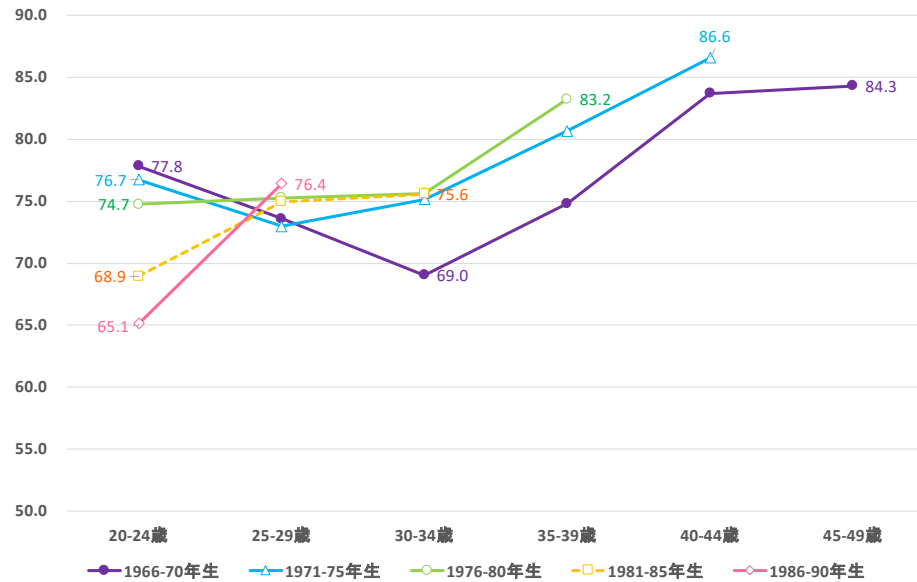


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 20-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.5歳、25.8歳、26.1歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.6歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は14位、1971-75年生の県内順位は16位、1976-80年生は11位と平均結婚年齢が県内平均(中位)程度の自治体となっている。

## ⑥コホート別女性就業率

図 20-8 コホート別女性就業率 単位：%

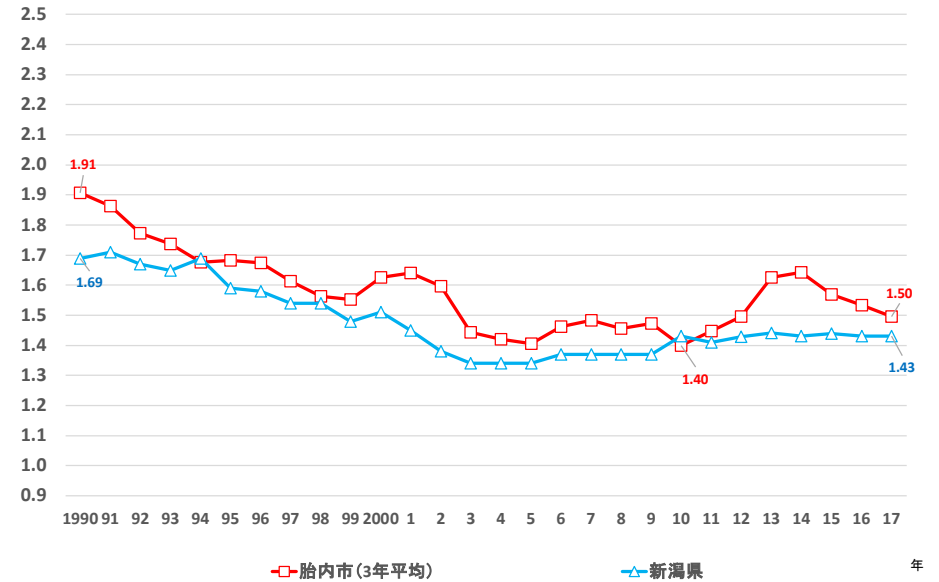


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 20-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 69.0%であったのに対して、1981-85 年生まれは 75.6%に上昇している。
- ・ 1970 年代前半生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1970 年代後半生まれ以降では 25-29 歳から 30-34 歳時点での M 字の底が確認されない。

## ⑦期間合計特殊出生率

図 20-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 20-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と胎内市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降で見ると、胎内市の期間合計特殊出生率は 1994 年、2010 年を除き新潟県平均より高く、期間平均では 0.10 ポイント高い。
- ・ 胎内市の期間合計特殊出生率は、1990 年の 1.91 から低下して、2003-11 年まで 1.40 台で推移した。その後、2014 年には 1.64 まで改善したものの、2017 年には 1.50 に低下している。